

企画提案者名：岐阜女子大学

**採択条件への対応**

- ・受講料収入の36人というのは現実的な数字なのかもしれない。「この他90人は特別受講生として無料」というのが、どういうことなのか、書類から読み取れなかった。について、計画の詳細を記載の上、再提出すること。

(回答)

- 令和5年度本事業で実施した講演会では、全国より411名の参加があり、「幼児教育コーディネータ」への一定程度の理解を得ることができたと受け止め、需要を見込めるものと予測した。そのため、定員を180名としていた。
- その中で、定員の充足率を70%と見込み、定員を180名としていた。その充足率での受講生数は126名である。
- 126名の受講生予測数に対して、昨年度の受講者数の29名の実績を考え、36名は受講者数を確保することと考えた。その上で、126名の内36名以外の90名を「特別受講生」として、受講料を免除することを含め、広報をすることで、受講生の参加が容易になると見込んでいる。この「特別受講生」は、「幼児教育コーディネータ養成講座」のカリキュラム内容と受講方法について、アンケートやヒアリング調査に協力することを条件とする。
- 加えて、「特別受講生」は、本事業評価検討委員会委員の所属機関等からの推薦を受けた者に限ることとする。  
具体的な機関は、沖縄女子短期大学・与那原町教育委員会・岐阜市教育委員会である。

⇒本指摘については、実施計画書P7に、以下の内容を追記します。(黄色マーカー)

126名の受講生数に対して、令和5度の受講者数の29名の実績を考え、36名は受講者数を確保する。その上で、126名の内36名以外の90名を「特別受講生」として、受講料を免除することを含め広報をする。「特別受講生」は、「幼児教育コーディネータ養成講座」のカリキュラム内容と受講方法等について、アンケートやヒアリング調査に協力することを条件とすることと、本事業評価検討委員会委員の所属機関である沖縄女子短期大学・与那原町教育委員会・岐阜市教育委員会等からの推薦を受けた者に限ることとする。

### 評価コメントへの対応（事業計画書の修正がある場合）

- ・学修環境の充実とあるが、交流を望んでいる受講生に具体的にどのようなことを考えているか。について記載すること

(回答)

- 本講座の科目を受講する中で、受講生と議論をしてもっと考えを深めていきたい事柄について、e-Learning システム内にて受講生より話題提供をできるようにして、その話題について議論をすることができる場を設定する。
- その場は、任意の日時を設定して、対面（オンライン）にて実施するものである。
- そのような議論の場をリアルタイム・対面にて設けることにより、学びの深化を図る。
- 加えてその後も議論が継続できるように、e-Learning システム内に掲示板を開設する。

⇒本指摘については、実施計画書 P3 に、以下の内容を追記します。(黄色マーカー)

そのための学修環境として e-Learning システム内の掲示板を今年度も設定すると共に、活用促進のために活用方法の説明と解説書を作成する。加えて、リアルタイム・対面（オンライン）でのコミュニケーションの場を設定し、e-Learning システム内の掲示板にて寄せられた事柄を議論する場を設定する。このことにより、受講生が受講においてもっと深めたいと考えた内容を受講生同士が自ら深めていく場を設定する。

- ・成果報告会を実施するとのことだが、実施日程表にも記載がない上、それなりの経費も計上されているため、どのような位置づけで対象が誰なのかを知りたい。

(回答)

- 「幼児教育コーディネータ」という新たな価値を創出し、幼児教育の質の向上に資することができるのかについて、幼児教育関係者への発信を成果報告会の実施により行い、「幼児教育コーディネータ」を周知し、幼稚園教諭 2 種免許状保有者が 1 種免許状上進への意欲を持つことができるようにする。

⇒本指摘については、実施計画書 P5 に、以下の内容を追記します。(黄色マーカー)

実施時期：令和 6 年 1 1 月

実施内容：・成果報告会開催

評価：・幼児教育コーディネータ養成講座の需要に対する幼児教育関係者による外部評価

検討委員会：・評価検討委員の報告会への参加・評価

※上記内容を既存の表の中に入れ込み、表記します。

・「幼児教育コーディネータ」の養成カリキュラムの開発には、魅力も感じる。これが免許上進のモチベーションにどのようにつながるのかが、すこしわかりにくい。

(回答)

- これまで幼稚園教諭2種免許状保有者のための1種免許状への上進のための講座は、本学では継続して実施してきた。しかし、1種免許状に上進できることをピーアールしてもなかなか受講生が増えない現状が続いた。
- そこで、1種免許状の上進のみでなく、幼児教育を取り巻く様々な課題に対して園の教諭が自身の園の中で協働して課題解決していくことができる資質能力を育むことができることに注力した講座を実施することで、幼稚園教諭が講座への受講に意欲を持つことができるのではないかと考えた。
- その証として新たな価値を付加すべく、本学の履修証明プログラムとして「幼児教育コーディネータ養成講座」を実施することとした。
- このように1種免許状に上進できると共に、「幼児教育コーディネータ」という新たなキャリア(価値)を得ることができることにより、モチベーションの強化に資するものとする。

⇒本指摘については、実施計画書P2に、以下の内容を追記します。(黄色マーカー)

- 「幼児教育コーディネータ」という新たな価値を付加することにより、上進への意欲の向上にもつなげるものである。

#### **事務局コメントへの対応**